

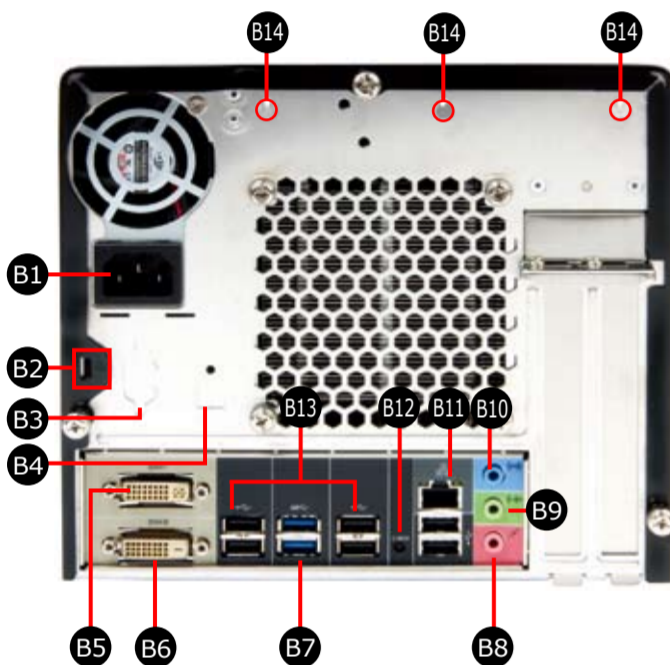
SH61R4 クイックガイド【日本語】

正面パネル



- F1. HDD LED
F2. 電源スイッチ / 電源 LED
F3. 5.25" インチベイ
F4. USB2.0 ポート
F5. マイク
F6. ヘッドフォン

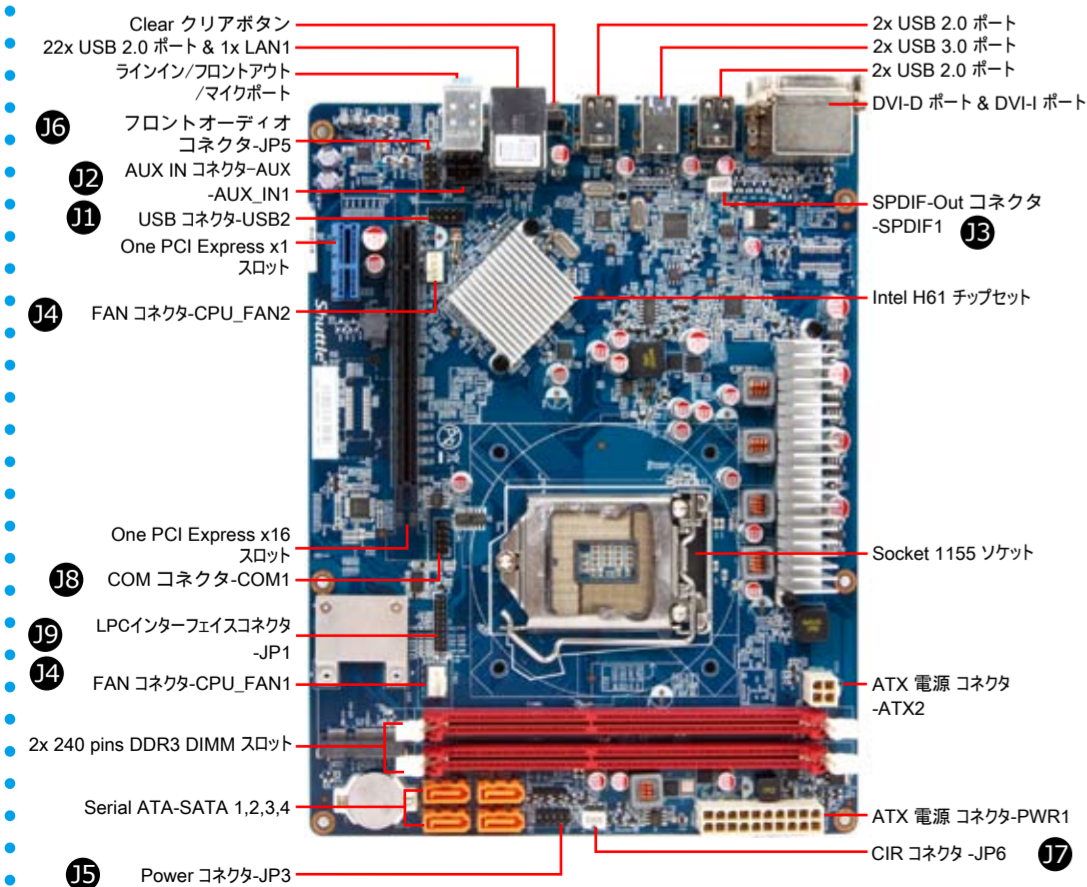
背面パネル



- B1. AC 電源ソケット
B2. ケンジントロック
B3. シリアルポート追加用 (オプション)
B4. SPDIF アウトポート (オプション)
B5. DVI-I ポート
B6. DVI-D ポート
B7. USB3.0 ポート
B8. マイクイン ポート
B9. 正面アウト ポート
B10. ライン イン ポート
B11. LAN & USB2.0 ポート
B12. クリアCMOSボタン
B13. USB2.0 ポート
B14. ワイヤレスLANキット追加用 (オプション)

⚠ PCI expressにカードを挿入した場合、DVI-I & DVI-D ポートは動作致しません。

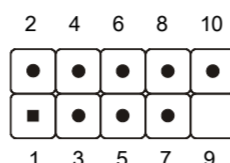
メインボード図



ジャンパ設定

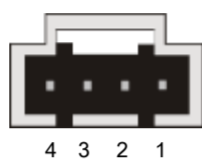
J1 USB コネクタ - (USB2)

- 1=5V_USB
2=Ground
3=USB A-
4=USB B-
5=USB A+
6=USB B+
7=GND
8=GND
9=NULL
10=NA



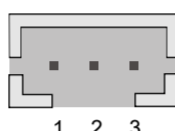
J2 AUX IN コネクタ - (AUX_IN1)

- 1=AUX_IN_L
2=Ground
3=Ground
4=AUX_IN_R

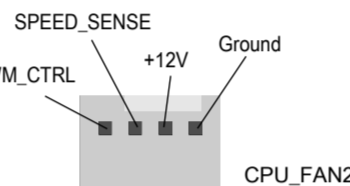
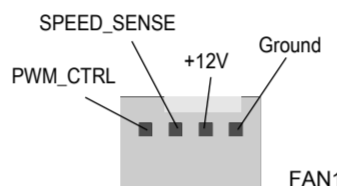


J3 SPDIF-Out コネクタ - (SPDIF1)

- 1=Ground
2=VCC
3=SPDIF_O

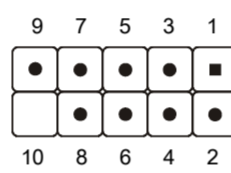


J4 FAN コネクタ



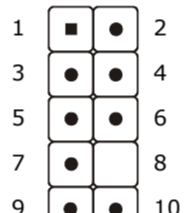
J5 Power コネクタ - (JP3)

- 1=+HD_LED
2=PWR_LED
3=-HD_LED
4=GND
5=RST_SW
6=PWR_SW
7=GND
8=GND
9=NA
10=NULL



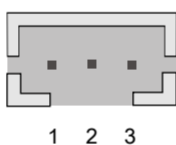
J6 フロントオーディオコネクタ - (JP5)

- 1=Front MIC_L
2=AGND
3=Front MIC_R
4=Front Audio detect
5=Head phone_R
6=Front MIC SENSE_Return
7=Front SENSE
8=NULL
9=Head phone_L
10=Head phone SENSE_Return



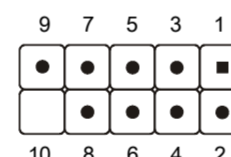
J7 CIR コネクタ - (JP6)

- 1=Ground
2=5V_DUAL
3=CIR-RX



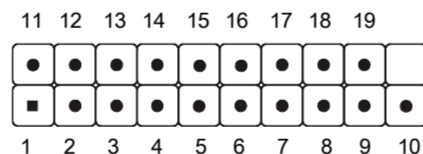
J8 COM コネクタ - (COM1)

- 1=DCD1
2=RX1
3=TXD1
4=DTR1
5=Ground
6=DSR1
7=RTS1
8=CTS1
9=XRI
10=NULL



J9 LPCインターフェイスコネクタ - (JP1)

- 1=+12V
2=5V
3=5VSB
4=SERIRQ
5=CLK-48M
6=CLK-33M
7=STORST#
8=LFRAME
9=LAD3
10=LAD2
11=-12V
12=3VSB
13=RI
14=LDRQ
15=PME
16=LAD1
17=LAD0
18=+3.3V
19=GND



安全に関する情報

Shuttle XPC をセットアップする前に、次の注意事項をお読みください。

注意

バッテリーを間違えてセットすると、このコンピュータが損傷する原因となります。交換する際は、Shuttle が推奨するバッテリーと同じもの、または同等のものをだけを使用するようにして下さい。使用済みバッテリーは、メーカーの指示に従って処分して下さい。

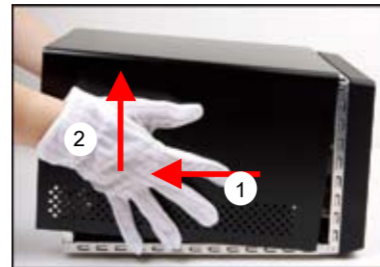
レーザー準拠声明

このPCの光ディスクドライブは、レーザー製品です。ドライブの認証ラベルは、ドライブに記載があります。クラス 1 レーザー製品
注意: 開けると不視可レーザーが照射されます。光線の暴露を避けて下さい。

A. 取り付けの開始

⚠ 安全のため、ケースを開ける前に電源コードを外していることを確認してください

- シャーシカバーの3本のネジを抜きます。
- カバーを後ろと上方向にスライドさせます。

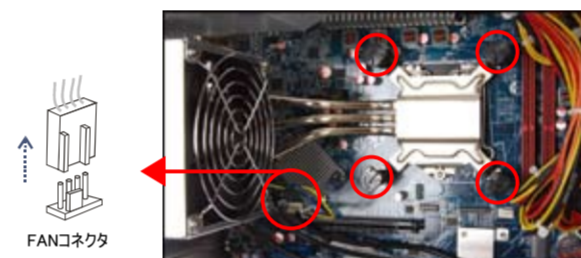


- 図の通りベイマウントのネジを取り外します。ベイマウントを取り外します。



B. CPUとICEの取り付け

- シャーシ背面のICEファンネジを外し
- FANコネクタを取り外し、ICEモジュールにあるネジを外します。

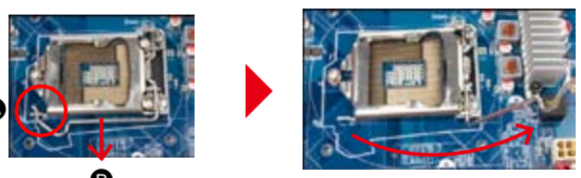


- ICEモジュールを引き上げるように引き上げるようにして取り外します。

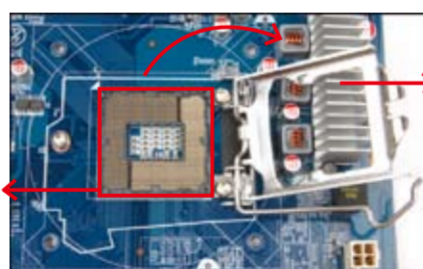
⚠ 1155 ピンソケットは非常にデリケートなため、簡単に破損してしまいます。CPUを取り付ける際は、必ず細心の注意を払っていただけますようお願い致します。またCPU設置の際は、必ず電源をOFFにし、ケーブルが抜けている事を。

➢ 確認してから作業を行うようお願い致します。

- まずロックを解除します。A 部分を指で押すようにして、B の方向へずらすようにレバーを引き上げて下さい。

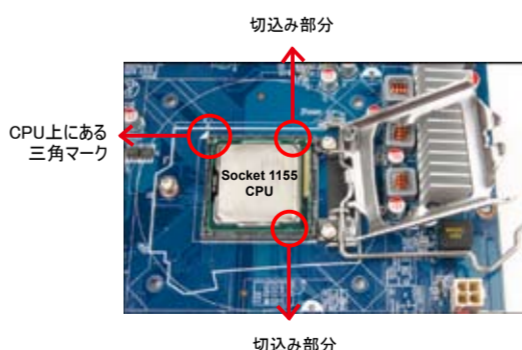


- CPUソケットの金属板を持ち上げます。



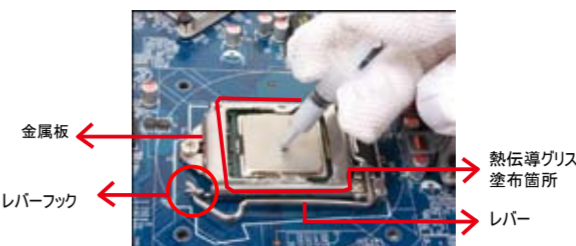
⚠ ソケット内部には絶対触らないでください。CPUを設置しない場合は、保護のためにプラスチックカバーを取り付けるようお願い致します。

- CPUとり付けの際は、CPU側の切り込みがソケット側と合うように、取り付ける向きを確認してから、取り付けて下さい。



⚠ CPUの設置には細心の注意をお願い致します。力強く差し入れるとCPU及びソケットの損傷につながります。

- 金属板を閉じ、レバーを下して固定します。
- CPUの表面に熱伝導グリスを塗布します。

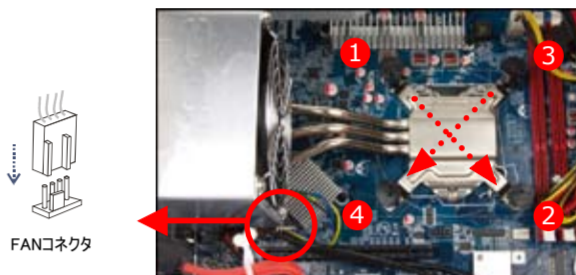


⚠ 塗りすぎないように注意して下さい。

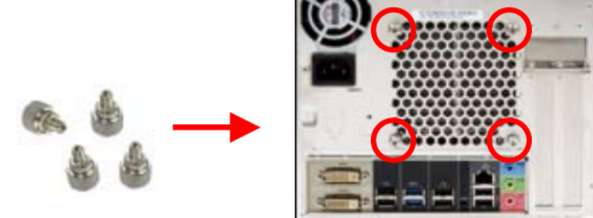
⚠ 9. ICEモジュール底面にある保護シートをはがし、CPUソケットからも保護シートをはがして下さい。

- マザーボードへ差し入れたネジを締めます。それぞれ押し込むようにしながら締めるようにします。

- FANコネクタへコネクタを接続します。



- ケース背面の4つのネジを締めます。



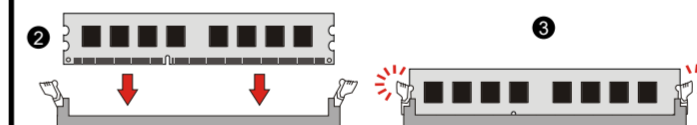
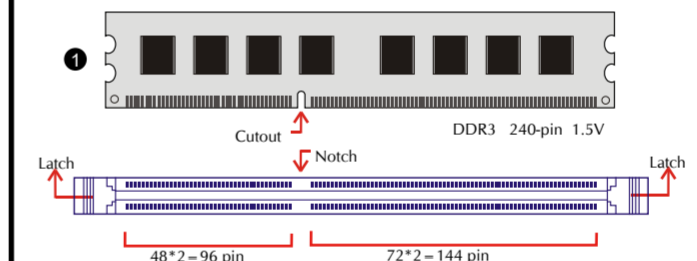
C. メモリーの取り付け

➢ メモリーの取り付け

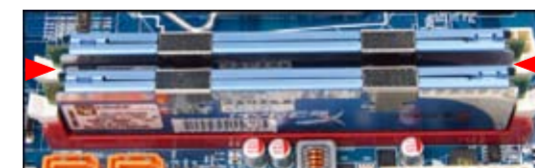
DDR3は、DDR/DDR2との互換性はありません。DDR3 DIMMが確実にマザーボードへ取り付けられている事を確認した後、お持ちのメモリーモジュールを正しくメモリーソケットへ取り付けのために次のステップへお進み下さい。

- DIMMのロックを外します。
- メモリーの切り込み位置を確認し、メモリーを挿し入れます。

⚠ DDR3メモリーの向きを間違えると、挿し入れる事はできません。



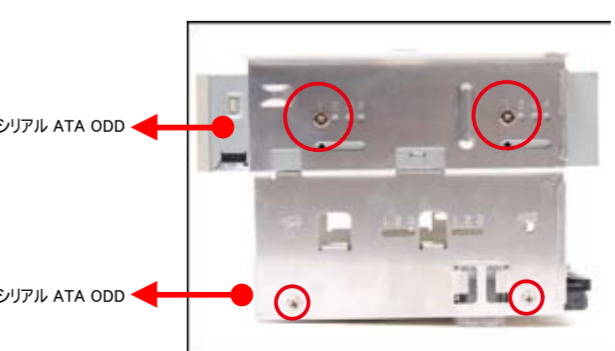
- 挿し入れると、ロックがかかります。



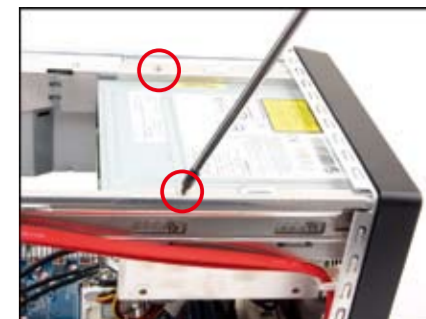
⚠ メモリーを追加する際は、同作業を繰り返して下さい。

D. 周辺機器の取り付け

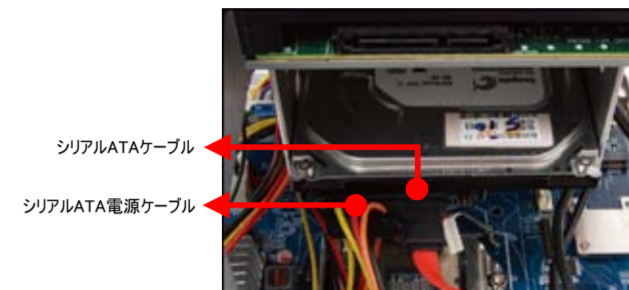
- 結束されているHDD電源ケーブルを取りだします。
- HDDをベイマウントに設置し、ネジを側面より締めます。



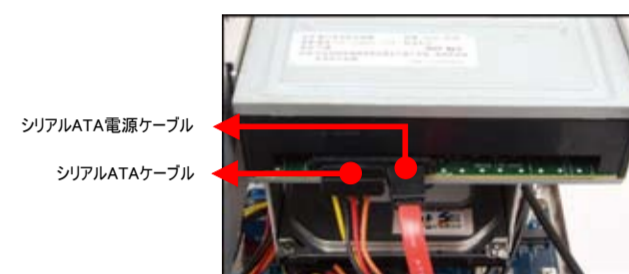
- ベイマウントを取り付け、ネジを締めます。



- シリアルATAケーブル及び電源ケーブルを HDDへ接続します。



- シリアルATAケーブル及び電源ケーブルを HDDへ接続します。



E. アクセサリの取り付け

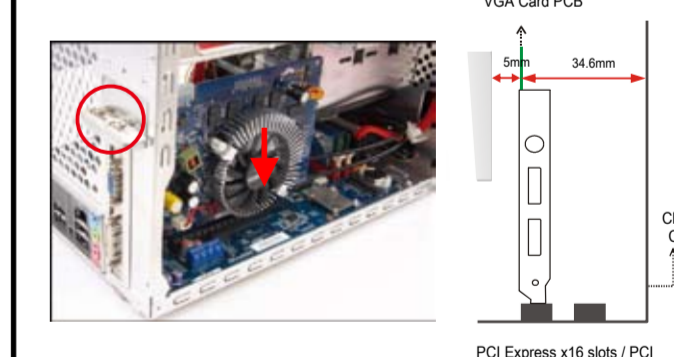
- ブラケットのネジを外します。ブラケット上部にある蓋を上げて、ブラケットを取り外します。

⚠ 搭載可能なカードサイズは、267mm x 98mm x 34.6 mm までです。追加したい場合は、同作業を繰り返します。



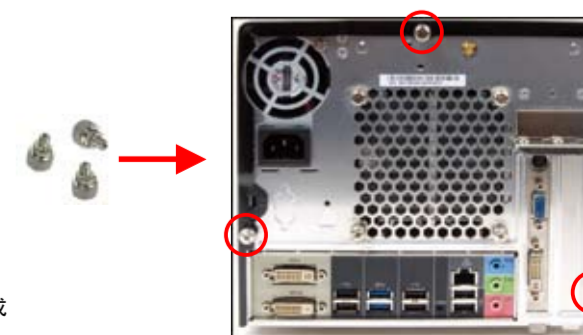
- 図にある通り、PCI/PCI Express x16ビデオカードを挿し入れ、電源ケーブルを接続します。

- ブラケットを締めます。



F. 完了

- カバーを戻し、ネジを締めます。



⚠ BIOS画面より Load the optimized BIOS を設定して下さい。